新大陸スケッチ紀行

～モンスターハンター：ワールド 編纂者日誌～

MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH

絵・藤山もんた



新大陸スケッチ紀行 ～モンスターハンター：ワールド 編纂者日誌～ MONSTER HUNTER: WORLD EDITOR'S SKETCH

Gzブレイン



新大陸 スケッチ紀行

～モンスターハンター：ワールド 編纂者日誌～

MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH

絵・藤山もんた



新大陸
スケッチ紀行

～モンスターハンター：ワールド 編纂者日誌～

MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH

絵・藤山もんた



およそ10年に1度、遥か彼方の新大陸をめざし、海を渡る古龍たち——。

この“古龍渡り”と呼ばれる現象の謎を解き明かした新大陸古龍調査団の偉業は、いまや遍くハンターの知るところとなった。各地で彼らの英雄譚が語られ、なかでも中心的役割を果たした“空からきた5期団”の逸話は広く親しまれている。

この書は、そんな新大陸古龍調査団の活動を支えたひとりの調査団員の手記をまとめたものである。第5期団として新大陸に赴いた編纂者で、名前はモン。彼女について知られているのはその名——さる同名のハンターとは遠縁に当たるらしい——のみで、英雄譚に登場することはない。彼女が何を求め、どんな思いで海を渡り、何を成し遂げたのか、わたしたちには知る由もないのだ。だが、彼女の残した膨大なスケッチからは、彼女の歩いた道が浮かび上がる。その肉筆による線のひとつひとつに目を凝らし、耳を澄ませば、彼女の息遣いまでも感じられる気がしてならない。

これは、編纂者モンの調査活動の記録であり、その人生の軌跡。決して“英雄の証”ではない、けれど編纂者モンが確かに生きた“痕跡”なのである。

MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH

CONTENTS



序

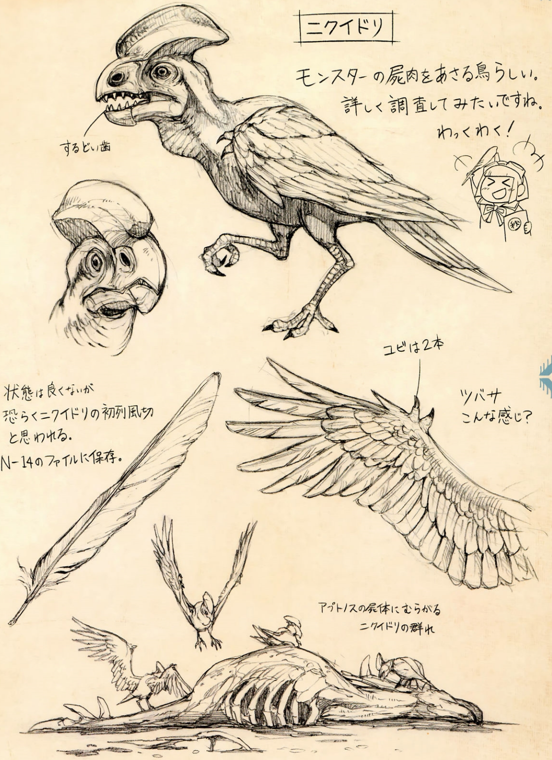
旅立ち

MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH

これは、新大陸古龍調査団第5期団に配属された、
ある編纂者の調査備忘録である。
忘れっぽい性格ゆえ、ハンターさんに迷惑がかからないよう、
フィールドで出会った生き物たちや狩猟中に起きた出来事など、
この目で見たものすべてを逐一スケッチしていく所存である。

…と、いうわけで！
ついに新大陸へと旅立つ時がやってきましたよ～！
新大陸には見たこともないような豊かな生態系が息づいているとか。
長い船旅のお供に、出航前に聞いた
生き物たちを描いてみましょうか！

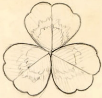



ニクイドリ
モンスターの屍肉をあさる鳥らしい。
詳しく調査してみたいですね。
わっくわく！
するどい歯
ユビは2本
ツバサ
こんな感じ？
状態は良くないが
恐らくニクイドリの初列風切
と思われる。
N-14のファイルに保存。
アプトノスの屍体にむらがる
ニクイドリの群れ

薬草

1株12～15本ほど生えていて、
ひとつのクキに3.4枚の葉が付いていますね。





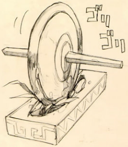
上から



葉っぱ



束ねて



すりつぶして精製、回復薬に！

火薬草

シダのような葉を持つ火薬草。
燃えるように赤く、
丸い花が咲いています！

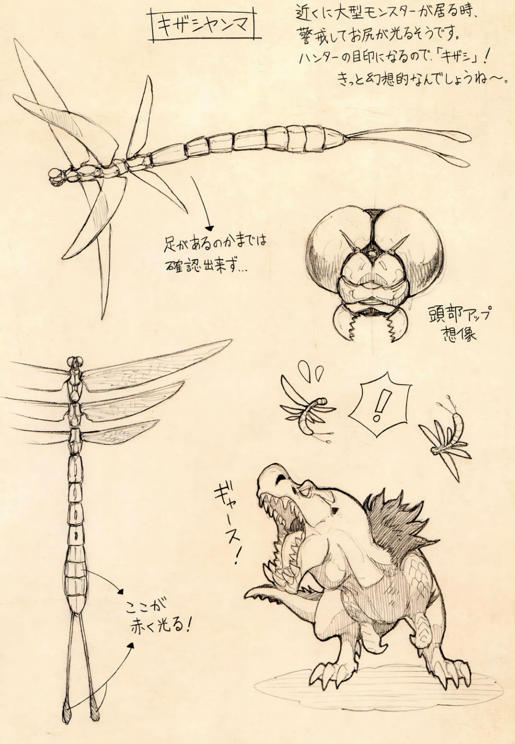




葉っぱ

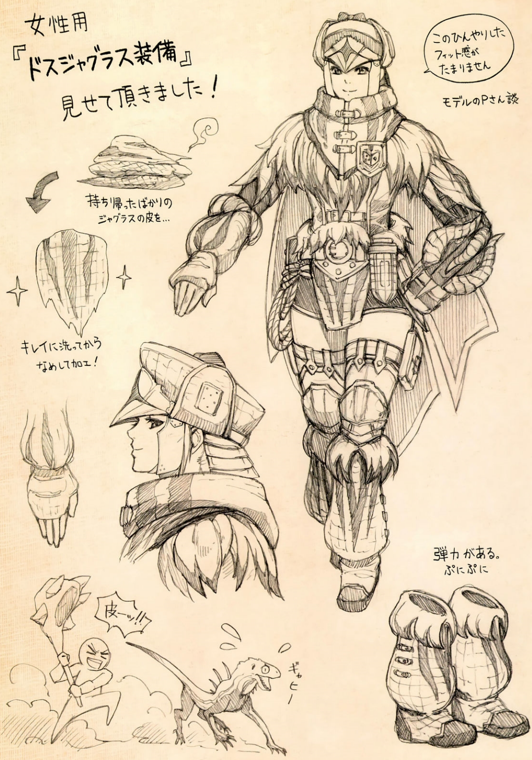


こちらは新大陸から届いた植物の1種。
現地では葉っぱの影に隠れたりもするとか！


キザシヤンマ
近くに大型モンスターが居る時、
警戒してお尻が光るそうです。
ハンターの目印になるので「キザシ」！
きっと幻想的なんでしょうね～。
足があるのかまでは
確認出来ず…
頭部アップ
想像
！
ギャース！
ここが
赤く光る！

古代樹の森の植生は多種多様で、
収集家の心をひきつけてやまない




女性用
『ドスジャグラス装備』
見せて頂きました！
このひんやりした
フィット感が
たまりません
モデルのPさん談
持ち帰ったばかりの
ジャグラスの皮を…
キレイに洗ってから
なめして加工！
弾力がある。
ぷにぷに
皮ーッ!!
ギャヒー

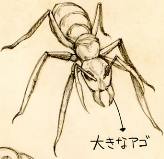

ドーン
肉焼き大好き!
機器を組み立てる時の
ガシャコン感が
良いですよね♪
私はケルビのお肉が
いちばん好いとー
小さめだけど
ジューシーなんよ
ギクッ
そうかにゃ
アプトノスの部位妄想
この部分
食べられるのかな…!?
いつもハンターさんが
焼いてる骨付き肉はココ?
ネック
かた
リブロース
カルビ
バラ
サーロイン
モモ
ランプ
テール
先の方は少し固そうだから
煮込み料理がオススメかも



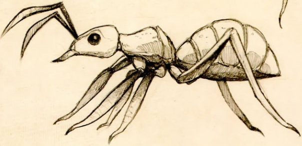
夜の大蟻塚は
幻想的な光の帯に包まれる

ハコビアリ

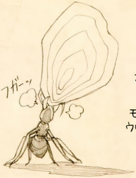
大蟻塚にもいろいろな生物が
棲息しているようです。







20cm くらいあります。
大きいですね…！



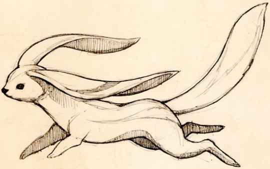
自分の体より
大きなモノを
軽々運びます。

モンスターの
ウロコのようなものを
運ぶことも。

ヨリミチウサギ

ふわふわでかわいい、と
もっぱらの噂！







身の危険を感じると
耳と尻尾をぴーんと立てるらしい。

きっと こうやって寝る。

そして
この顔である

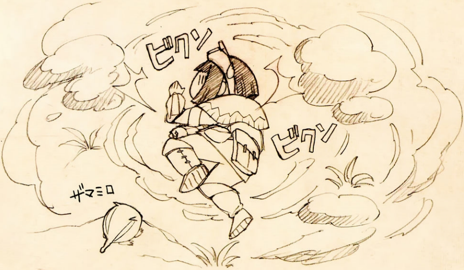


シビレガスガエル

外敵から身を守る為に
シビレガスを吐き出すらしいです。
思わずちょっかいを出したく
なりますね(笑)



シビレガスをあびると
こうなる!!



土砂竜ボルボロス
その姿は走る岩のごとく



1

新大陸へ

MONSTER HUNTER: WORLD

EDITOR'S SKETCH





なんだかソワソワして
窓の外を覗く
編纂者のお姉さん

山積みの本を前に
作戦会議をしている
女性ハンター





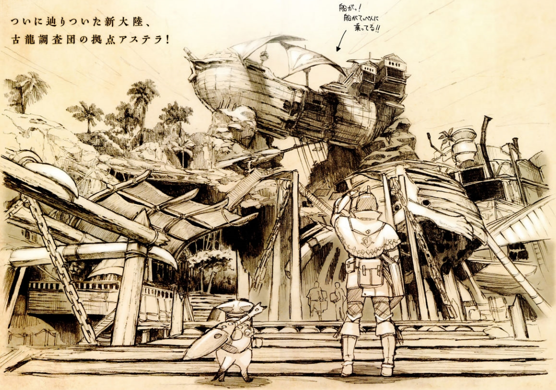
長かった船旅、新大陸到着を目前に活気づく船内、
最後の晩餐とばかりに奮発しちゃった肉定食！



まるで地の底から突き上げるような
大きな揺れを感じたのは、
肉にかぶりつこうとした
まさにその時でした……

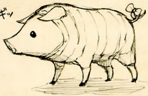

海の中に放り出され、
無我夢中で泳ぎながら見上げた先にいたのは…
古龍渡りを行った熔山龍ゾラ・マグダラオス

ついに辿りついた新大陸、
古龍調査団の拠点アステラ！

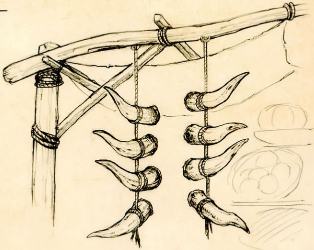


アステラ探検

いろいろ スケッチして
来ました



1階の流通エリアに居たプーギー
勝手に名前つけちゃいました(笑)



これは何のツノでしょう？
あちこちに吊るしてあります



カジキマグロ発見！
私も早く釣りが
したい～!!

植生研究所で見つけた
水上植物



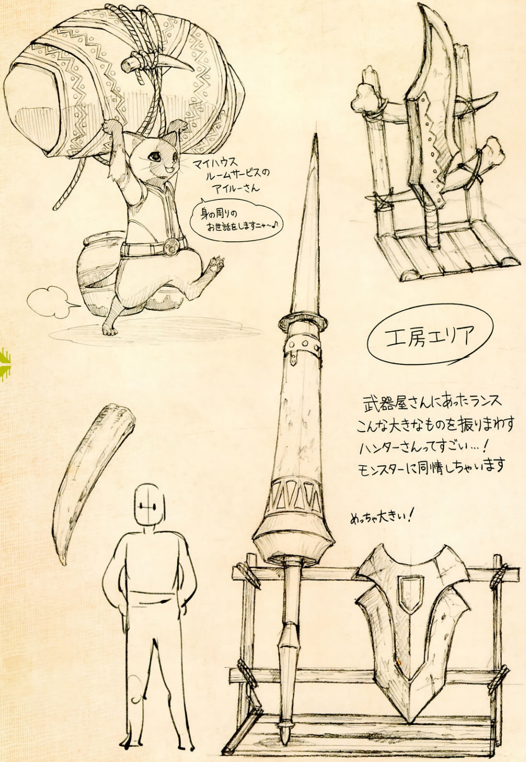
水の中にある葉は
水上のものとは形が違う

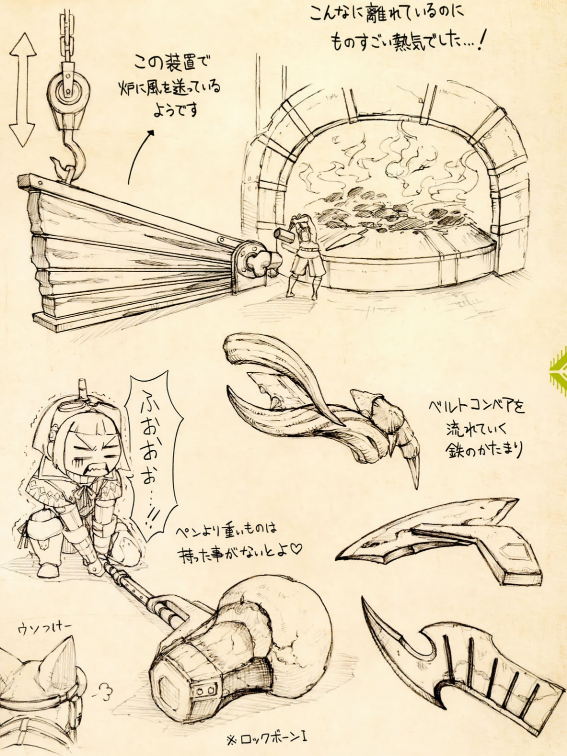


これから加工されるであろう
鉱石の山。辺りにひびく
職人さんのカナヅチの音が
心地良いです。



導蟲の照明.
夜がキレイ
このタルを
半分にカットした
ハンギングおシャレ
植生研究所
おっとりした
植物学者さん
私がいちばん
好きな場所です


マイハウス
ルームサービスの
アイルーさん
身の周りの
お世話をしますニャ~♪
工房エリア
武器屋さんにあったランス
こんな大きなものを振りまわす
ハンターさんってすごい…!
モンスターに同情しちゃいます
めっちゃ大きい!


こんなに離れているのに
ものすごい熱気でした…！
この装置で
炉に風を送っている
ようです
ふおおおお…!!!
ペンより重いものは
持った事がないとよ♡
ベルトコンベアを
流れていく
鉄のかたまり
ウソつけー
※ロックボーンI

古代樹の森

MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH


賊竜ドスジャグラス
食欲旺盛で、
捕らえた獲物は
丸飲みにする


Thanks!
Fさん
ハンターさんの調査に
同行させて頂きました！
『導蟲』
腰に装着した
カゴの周辺に
たくさん飛んでます。
モンスターの痕跡などを
見つけてくれるとか。
目をこらしてみましたが、
その姿を捉える事は出来ず…！
古代樹の森で見つけた痕跡
ドスジャグラスが
地面を這った跡
ドスジャグラスの
足跡
※大きさの比較対象として
ハンターナイフを置いて頂きました。

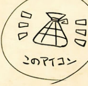

痕跡を導蟲に
記憶させて
モンスターを追跡!
回収
容器
ドキドキ
そしてFさん強すぎ(笑)

ボーンネコ装備のオトモアイルー
加工しやすく人気の一品



シンリンシソチョウ

捕獲用ネットを使って環境生物を捕獲.
マイルームで観察してみました！



虹色の羽が美しいです.
新しい羽ペン用に
1本欲しい…！



古代樹の森に
生息する鳥.

口の中には
小さな歯が並ぶ.





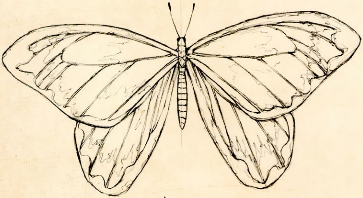


古代樹の森では
自由に飛び回っていたので、
二等マイハウスの中でも
飛んでる所が見たくて
木を持ち込もうとしたら
怒られたとです…（汗）

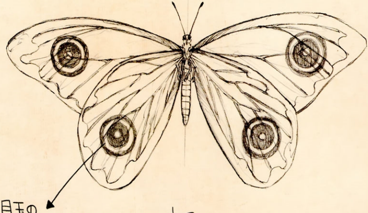
コバルトモルフォ

まるで空を舞う青い宝石…！
色付きで描けないのが残念です。
持ち帰るまで、羽を傷付けないように
慎重に運びました。





オモテ



ウラ

トウゲンチョウ

かっ…かわいい！もっふもふですよー！
時々首をかしげる仕草がたまりません。



ニクイドリと同じく、2本の爪。
もしかして近しい種なのかも？





脇腹の羽毛。
T-6ファイルに
保存。



ゾラ・マグダラオス上陸の影響で
使えなくなったキャンプ跡地を再建


キャンプでの食事
切り株のテーブル。
クロスも
ちゃんと敷いてあります。
食材の
ストックも
たっぷり！
大きなかまど
受付嬢の料理の
腕前は超一流です！

テントの中の設備

装備変更やアイテムBOXの利用、体力回復は勿論、
スリンガーやナイフの手入れをしたりして
ゆっくりできる場所でもあります。

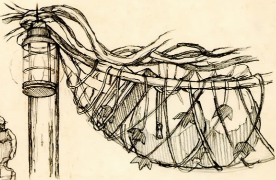


恐らく
武器を手入れする
ためのタオル

椅子

大きな丸太を
まるごと設置!





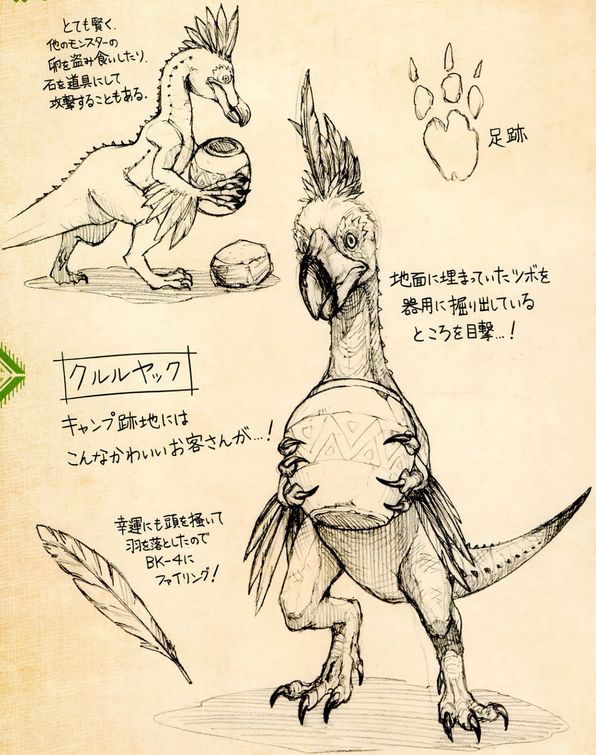
ツタを利用した
天井の荷物置き場。
狭いスペースも
有効活用!

テーブル

温かい
飲み物が
用意してあります

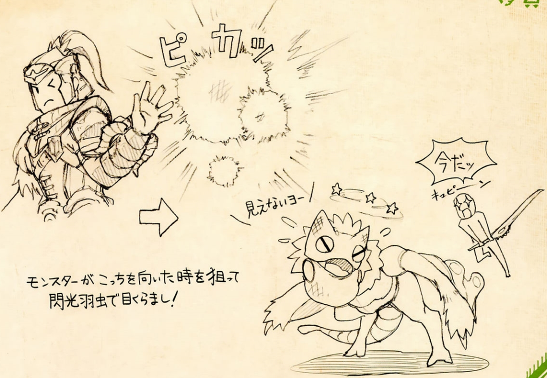





とても賢く、
他のモンスターの
卵を盗み食いしたり、
石を道具にして
攻撃することもある。
足跡
地面に埋まっていたツボを
器用に掘り出している
ところを目撃…！
クルルヤック
キャンプ跡地には
こんなかわいいお客さんが…！
幸運にも頭を掻いて
羽を落としたので
BK-4に
ファイリング！

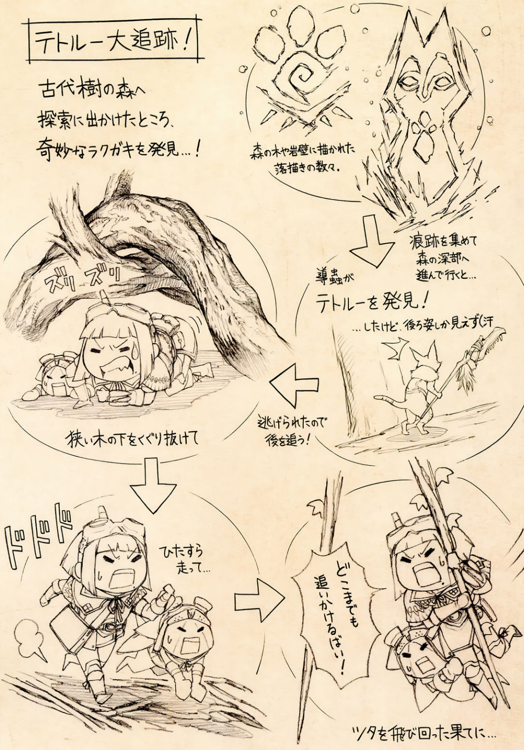

その身も色鮮やかな毒妖鳥プケプケ
強力な毒ブレスを放つ
狡猾なモンスター


プケプケ狩猟観察記
いよいよ第5期団も
本格的な狩猟の任務に…!
解毒薬は必須
アイテム
はじけクルミなどを食べて
口や尾に溜め込む性質あり。
毒ブレスだけでなく、尻尾からの
毒攻撃にも注意が必要
ブシューーッ
ひー
痕跡
毒性の強い
粘液
ベトベト
です(汗)
足跡
回復アイテム以外にも
回復ツユクサや
回復ミツムシが
役立つ。


ピカッ!
見えないヨー!
今だッ
キュピーン
モンスターがこっちを向いた時を狙って
閃光羽虫で目くらまし!


視界を遮る綿帽子草も使える.
自然環境を知り尽くし、
活用するのが新大陸のハンター!!
よし!
シャッ
シャッ
太刀
ボーンショテルI
切断された
プケプケのシッポ
これで防具が作れる!

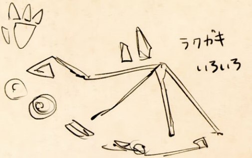

探索中、
ひとりの調査員と出会う


テトルー大追跡！
古代樹の森へ
探索に出かけたところ、
奇妙なラクガキを発見…！
森の木や岩壁に描かれた
落描きの数々。
痕跡を集めて
森の深部へ
進んで行くと…
導蟲が
テトルーを発見！
…したけど、後ろ姿しか見えず（汗
逃げられたので
後を追う！
ズリ ズリ
狭い木の下をくぐり抜けて
ドドド
ひたすら
走って…
どこまでも
追いかけるばい！
ツタを飛び回った果てに…

ついにテトルー(森の虫かご族)を発見!!









『あしどめの虫かご』
森の虫かご族と仲良くなった事で使えるオトモ道具。
これがあれば、大型モンスターの目をくらませる事ができる！

アステラの食事場、
武器と山猫亭を切り盛りする
アイルーたち

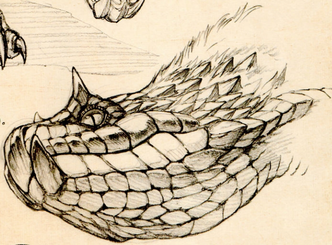


トビカガチ

木から木へ
飛び回る姿は
まさに電光石火

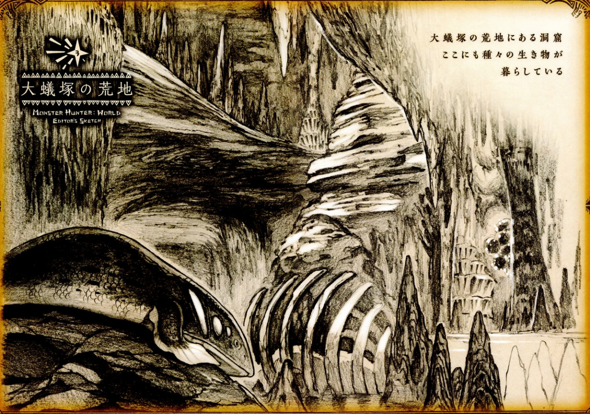






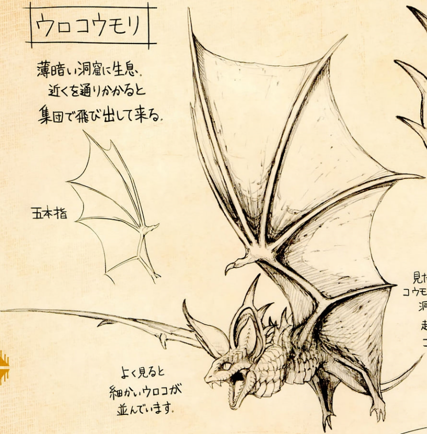



ムササビのように
空中を滑空できる
帯電状態になると、
攻撃力が上がったり
素早さが増す
ウロコの
隙間から
体毛が生えている
探索中に拾った
トビカガチの羽毛。
空中を飛び回るために
甲殻が進化したもの？
BT-9にファイリング。


大蟻塚の荒地
MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH
大蟻塚の荒地にある洞窟
ここにも種々の生き物が
暮らしている

ウロコウモリ

薄暗い洞窟に生息。
近くを通りかかると
集団で飛び出して来る。

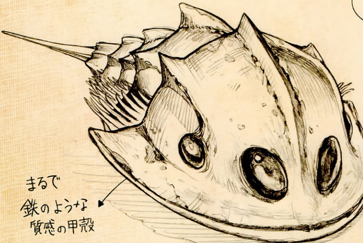


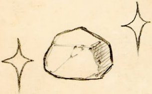


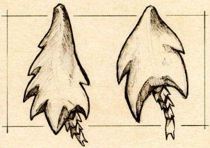
大蟻塚で見る事の出来る環境生物たち

テツカブトガニ

硬いものを持ち運ぶ習性があり、
刺激を与えると
尖鋭石を落とす事がある。



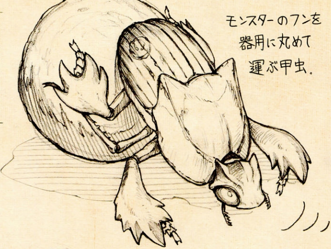




フンをまとめる為に
発達した脚

フンコロガシ

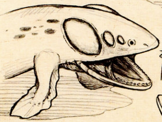
モンスターのフンを
器用に丸めて
運ぶ甲虫。



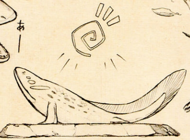
ナキキノボリウオ

陸上でも活動出来る魚。
名前の通り、雨が降ると鳴く性質を持っとか。
まだ聴いた事が無いので気になります…！





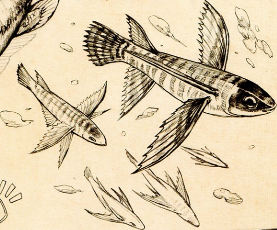
発光器官は
開閉する事が出来るようです。

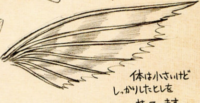


岩の上で日光浴する姿が置物みたいで愛くるしい（笑）

ホッピングッピー

水上を素早く跳ねて移動する小魚。
浅い池でも群れになって泳ぐ姿を
見掛ける事が出来ます。





体は小さいけど
しっかりしたヒレを
持っています。

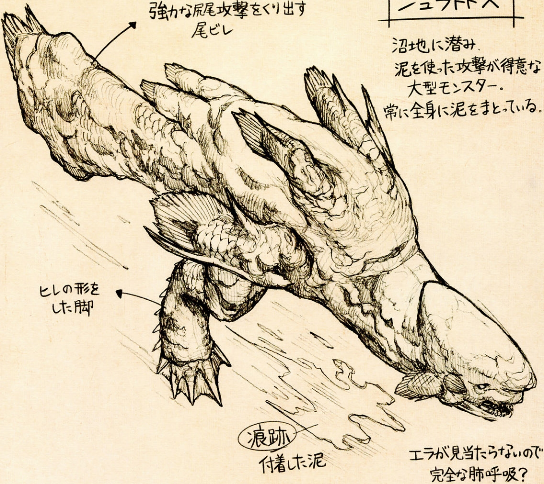


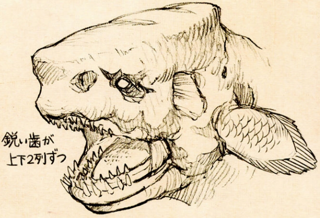
ジュラトドスとボルボロス

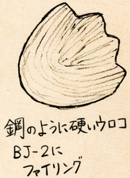
モンスター同士の縄張り争いに遭遇！

ジュラトドス

沼地に潜み、
泥を使った攻撃が得意な
大型モンスター。
常に全身に泥をまとっている。



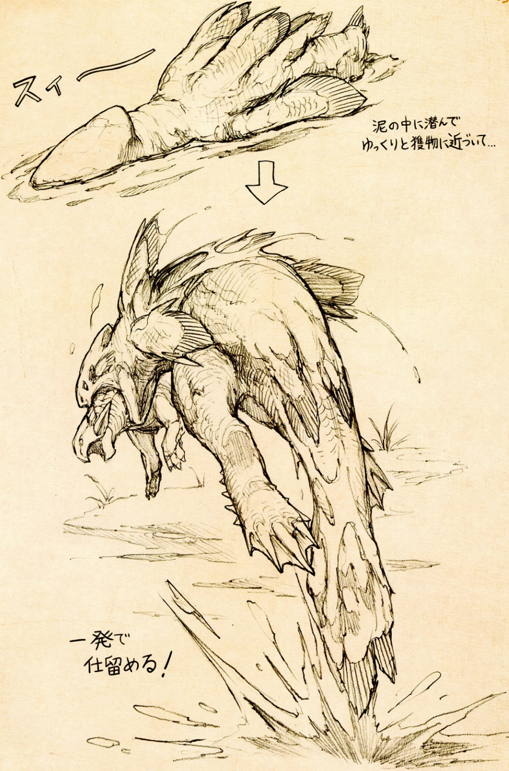


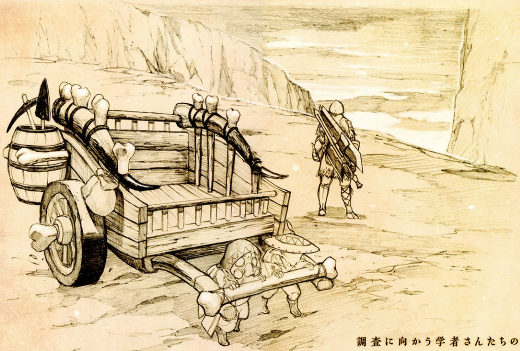



吐き出された
泥にハマると身動きが
とれなくなるので
要注意！


ジュラトドスの大ヒレ。
ぶ厚い泥の下には
美しいウロコが並んで
いました…！


ドリルルル
泥をまとおうと高速回転
している時は近づけない…！

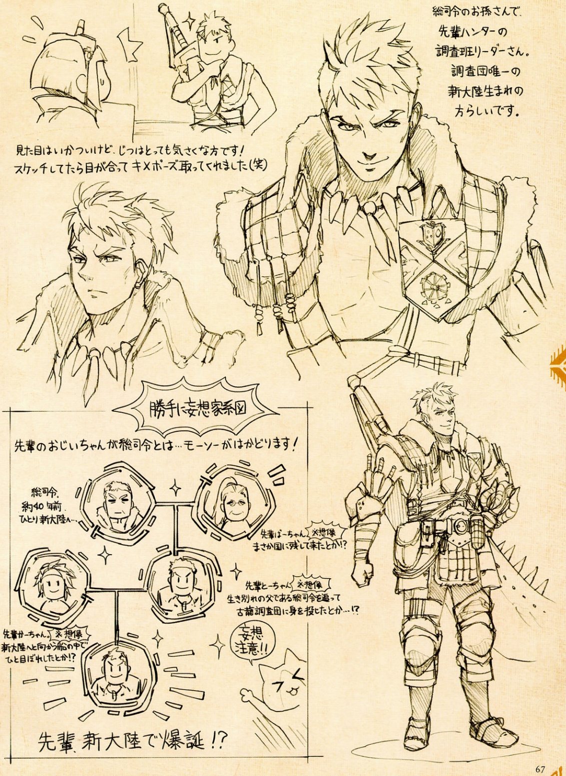

スィー
泥の中に潜んで
ゆっくりと獲物に近づいて…
一発で
仕留める！



調査に向かう学者さんたちの
護衛任務に就く第5期団

ゾラ・マグダラオスの痕跡の調査が進み、風雲急を告げるアステラ…!




総司令のお孫さんで、
先輩ハンターの
調査班リーダーさん。
調査団唯一の
新大陸生まれの
方らしいです。
見た目はいかついけど、じつはとっても気さくな方です！
スケッチしてたら目が合ってキメポーズ取ってくれました(笑)
勝手に妄想家系図
先輩のおじいちゃんが総司令とは…モーソーがはかどります！
総司令、
約40年前、
ひとり新大陸へ…
先輩ばーちゃん ※想像
まさか国に残して来たとか!?
先輩とーちゃん ※想像
生き別れの父である総司令を追って
古龍調査団に身を投じたとか…!?
先輩かーちゃん ※想像
新大陸へと向かう船の中で
ひと目ぼれしたとか!?
妄想
注意!!
先輩、新大陸で爆誕!?

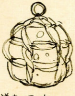

調査資源管理所の
リーダーの皆さん
技術班リーダーさん。
主に調査資源管理所にて、
アステラの全機材を
管理していらっしゃいます。
高所作業用の
リール。
お鼻の形に合わせた
手作りゴーグルが
チャーミングです。
物資班リーダーさん。
アステラのすべての物流を
管理しているお姉さん。
おおらかな性格だけど
抜け目のない方。
研究班リーダーさん。
あらゆる調査と成果物を管理していらっしゃいます。
一風変わった性格で、学者ジョークを言っては
ひとりで笑っています。

生態研究所

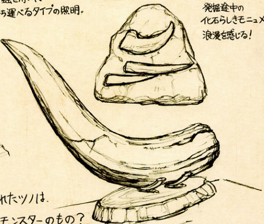
生態研究所には本が堆く積まれ、
研究者にとっては
夢のような場所です。



本から目を離すことなく
会話する所長。
この人の頭の中を
覗いてみたい…！



導蟲を用いた
持ち運べるタイプの照明。



発掘途中の
化石らしきモニュメント。
浪漫を感じる！

机に置かれたツノは、
研究中のモンスターのもの？



この本の山、いつか雪崩が起きて
お隣の植生研究所を埋め尽くす予感が
してならない…！


4
緊迫
MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH
アンジャナフに追われて
古代樹を駆け登った先に
待ち受けていたのは——

アンジャナフ

非常に好戦的な肉食モンスター。
餌の豊富な森を縄張りとしている。

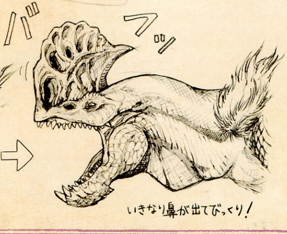




鼻の出し入れ

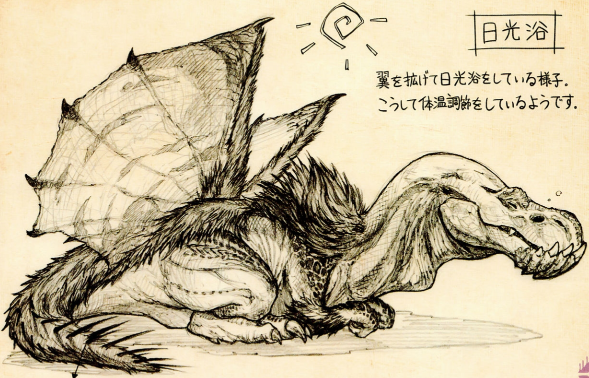
周囲の匂いをよく確かめる時や
粘液を付着させるマーキングを行う際に
収納している鼻を広げるようです。





日光浴

翼を拡げて日光浴をしている様子。
こうして体温調節をしているようです。

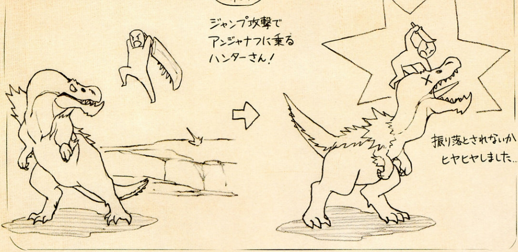


食事風景



主にアプトノスなどの
草食モンスターを捕食。

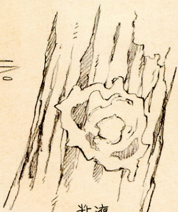
アンジャナフ狩猟観察





アンジャナフ
痕跡



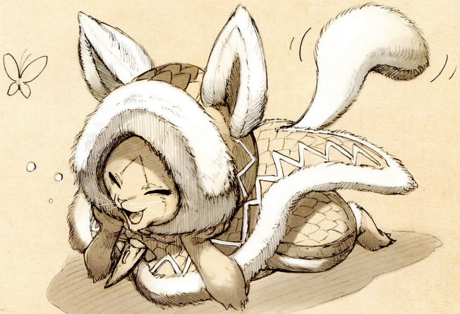


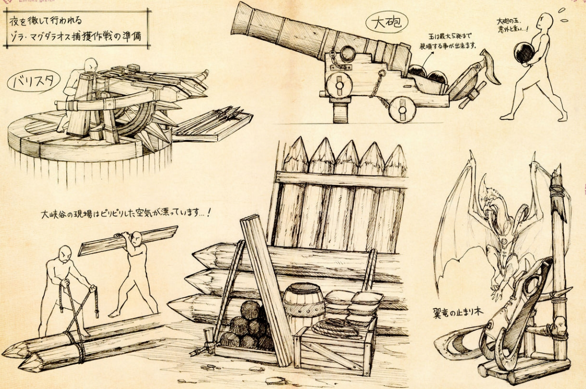
古代樹の森でアンジャナフを狩猟し、
意気揚々アステラに帰還すると、
とんでもない作戦が発表されたのでした。

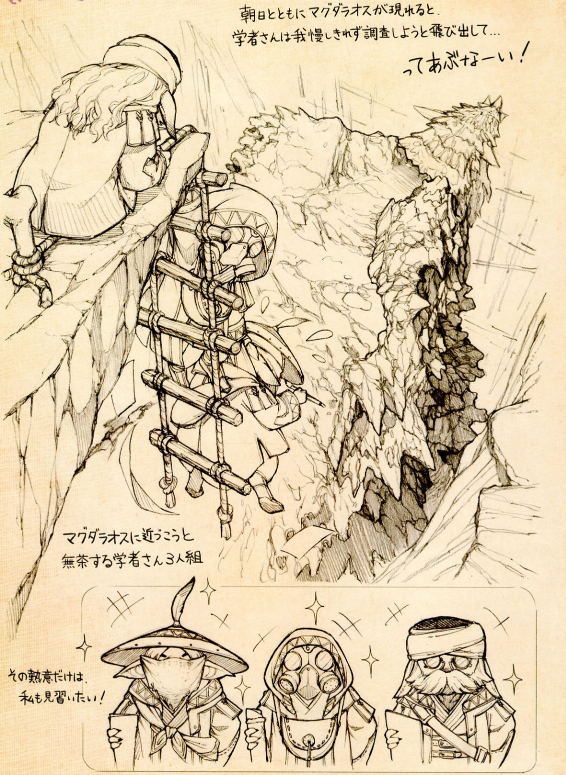
それは、あの古龍ゾラ・マグダラオスの捕獲作戦――!

場所は大峡谷、夜明けとともに作戦決行!
ハンターさんも学者さんもみんな、急ぎ現場に向かっています。

ゾラ・マグダラオスは、わたしたちに何を見せてくれるのでしょうか……?



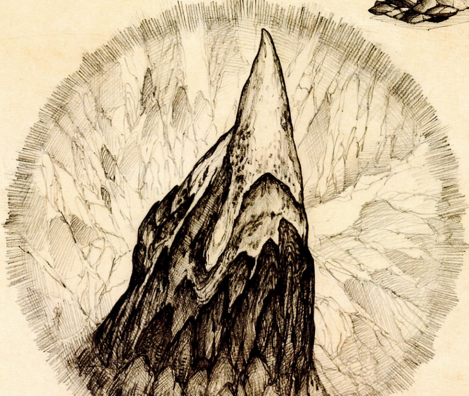

夜を徹して行われる
ゾラ・マグダラオス捕獲作戦の準備
バリスタ
大砲
玉は最大5発まで
装填する事が出来ます。
大砲の玉、
意外と重い…！
大峡谷の現場はピリピリした空気が漂っています…！
翼竜の止まり木


朝日とともにマグダラオスが現れると、
学者さんは我慢しきれず調査しようと飛び出して…
ってあぶなーい！
マグダラオスに近づこうと
無茶する学者さん3人組
その熱意だけは、
私も見習いたい！

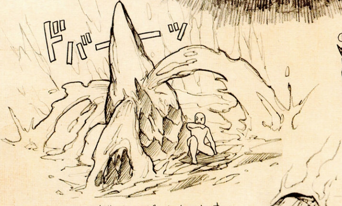
ゾラ・マグダラオスの排熱器官

角のような形状で、高熱を帯びた排熱器官。
作戦では ハンターさん達がここを破壊し、体力を減らすことに。

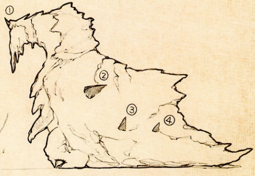




学者さんに負けじと
双眼鏡で観察しました！



ここから定期的にマグマを噴出する事で
体内の熱をコントロールしているようです…！



排熱器官の大まかな位置

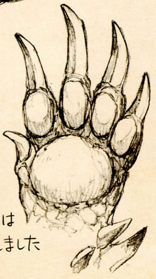


謎の古龍

作戦の最中、突如として飛来し、
調査団(マグダラオス?)を襲ったトゲの古龍。
名前はネルギガンテと言うそうですが、
詳しい事は不明…
ここでは遠方から観察できた事のみスケッチし、
いつかまた改めて描画できればと思います。

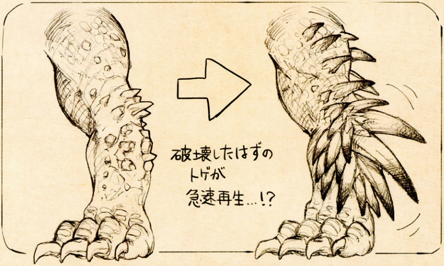


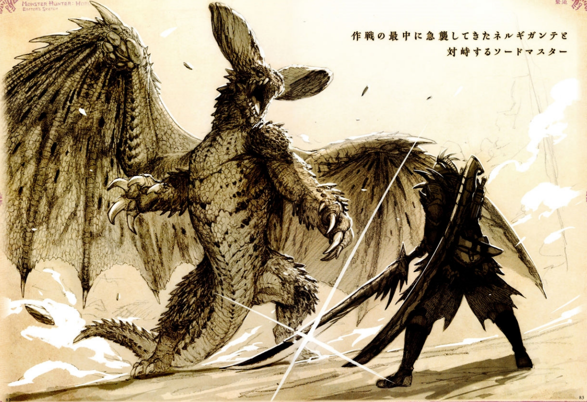
太い前足を使った叩きつけが強力。
巨体なのに動きが俊敏です!



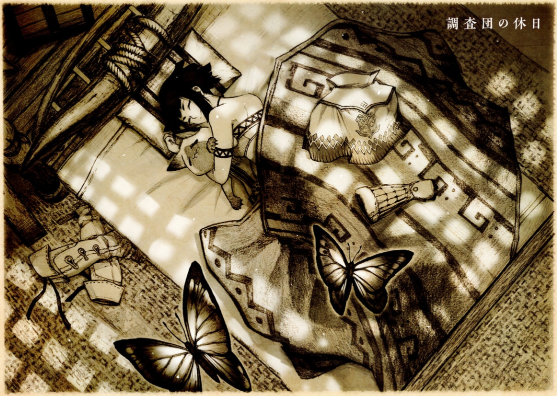
振り上げた掌には
分厚い皮が見えました

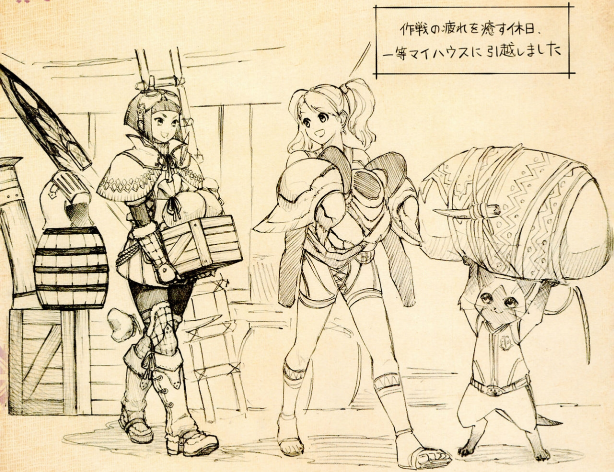

背中や翼には
おびただしい数の
トゲ
その強大なパワーを象徴するかのような
巨大な角と大きな牙。

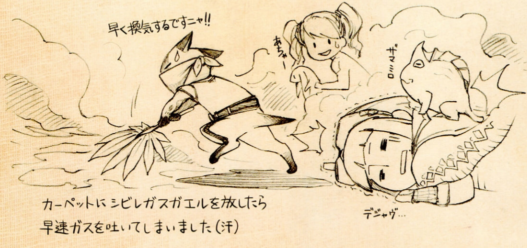

破壊したはずの
トゲが
急速再生…!?

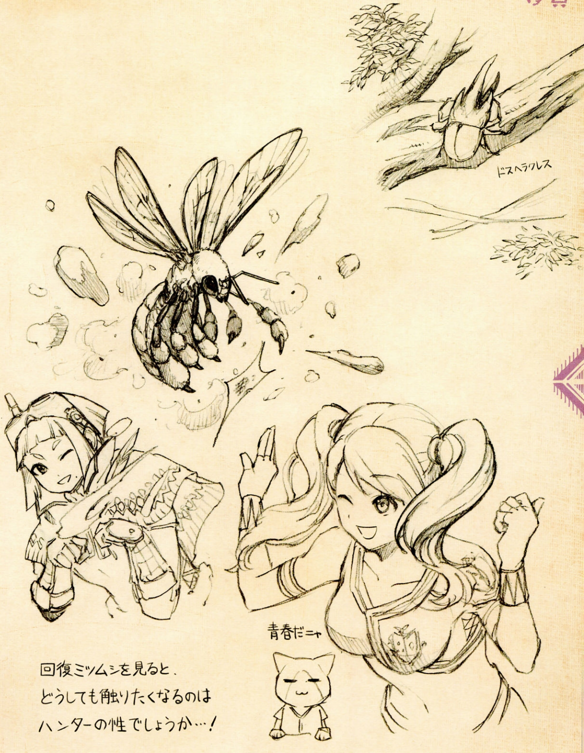


作戦の最中に急襲してきたネルギガンテと
対峙するソードマスター

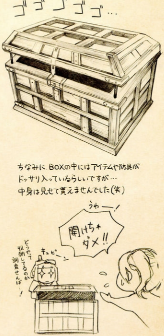

調査団の休日


作戦の疲れを癒す休日、
一等マイハウスに引越しました

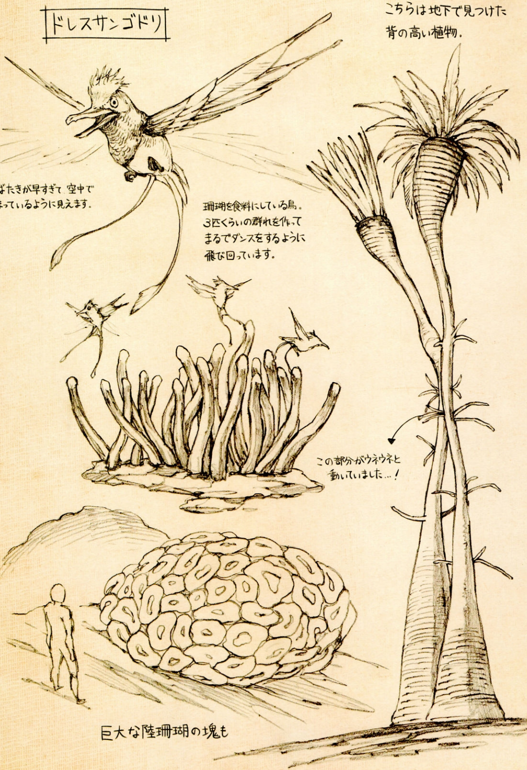

早く換気するですニャ!!
あちゃー
ザマミロ
デジャヴ…
カーペットにシビレガスガエルを放したら
早速ガスを吐いてしまいました(汗)

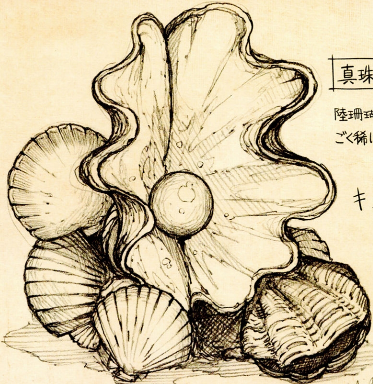

ドスヘラクレス
青春だニャ
回復ミツムシを見ると、
どうしても触りたくなるのは
ハンターの性でしょうか…！


水棲の環境生物たちは
特に慎重に運びます
ザバー
ニャー!!
小骨や木材を組み合わせて
作った手押し車


ゴゴゴゴゴ…
ちなみにBOXの中にはアイテムや防具が
ドッサリ入っているらしいですが…
中身は見せて貰えませんでした(笑)
うわー!
開けちゃダメ!!
キュピーン
どうやって収納してるのか調査せんば…!

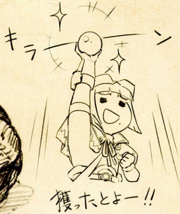

大峡谷の亀裂を越えて、
陸珊瑚の台地へ——
湧昇風に乗って運ばれる陸珊瑚の卵が
捕食者たちの生態を支えている
5
陸珊瑚の台地
MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH


ドレスサンゴドリ
こちらは地下で見つけた
背の高い植物。
はばたきが早すぎて 空中で
止まっているように見えます。
珊瑚を食料にしている鳥。
3匹くらいの群れを作って
まるでダンスをするように
飛び回っています。
この部分がウネウネと
動いていました…！
巨大な陸珊瑚の塊も



真珠貝

陸珊瑚の台地にある大きな貝。
ごく稀に、希少な真珠が取れる事も。





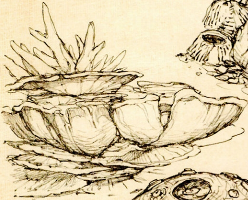
イソギンチャクのような
葉が生えています。

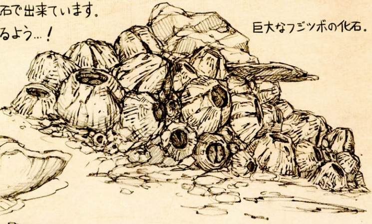
サボテンのような
形状の植物。



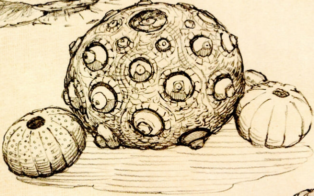


地面も壁も、全て貝や珊瑚の化石で出来ています。
まるで水の無い海中を歩いているよう…！





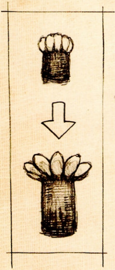
巨大なフジツボの化石。

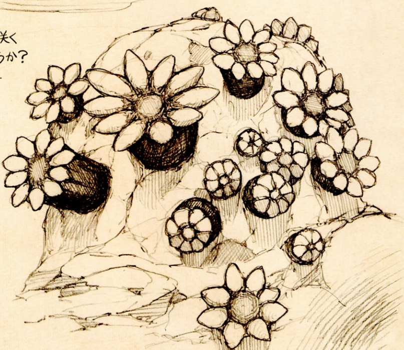


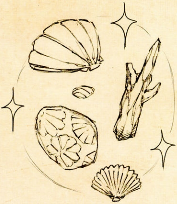
ツボ貝

ここで取れる「特産ツボアワビ」は
超絶美味らしいです…！

硬い珊瑚の化石の上に咲く
岩の様な花…なのでしょうか？

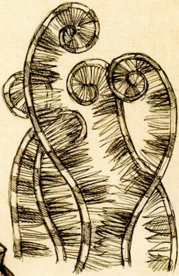




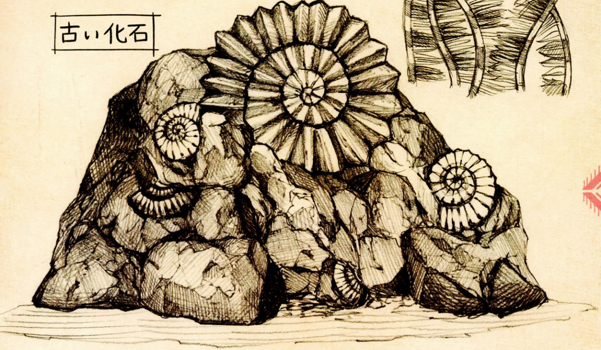


他にも、綺麗な貝殻や
珊瑚の化石を拾っちゃいました。

ふふふ…新大陸のレアな
コレクションが
また増えましたよ…！



古い化石



この地の古代生物を
妄想スケッチ!?

化石を見ながら、こんな生物が
いたのかも…と想像しちゃいました！
わくわく！



きっと空中を
フワフワ漂って
いたんでしょうね。

陸珊瑚の台地で集めた素材を
加工屋に持っていき、
ウルムー装備が完成！

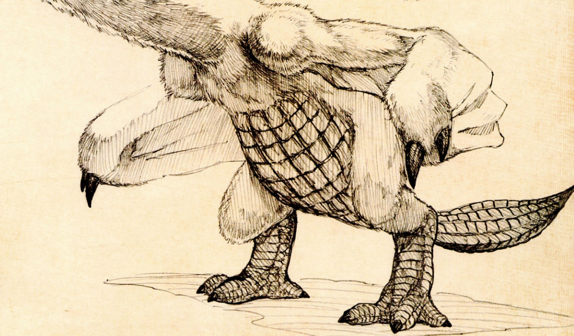


パオウルムー

陸珊瑚の台地に生息する飛竜。
陸珊瑚の卵を主食としている。








空気を吸い込んで膨張した姿。
浮空竜の名の通り、この状態で滞空する。
首回りの被毛はモチモチ！
怒った時の顔。
ドスッ！
痕跡
空中からのボディプレスが強力です！

陸珊瑚の台地で見つけた環境生物たち



オソラノエボシ

風の流れが強い場所を漂う生物。
集団で浮遊している姿が美しい…！



マイルームに配置する中では
一番のお気に入りです(笑)

ムカシマンタゲラ

高所をゆっくりと飛行している生物.
スリンガーなどを当てて落下させる事ができる。





ムカシマンタゲラの捕まえ方



スリンガーに石ころをセットして
低空飛行している個体を撃ち落とした所を…

捕獲ネットでゲット！

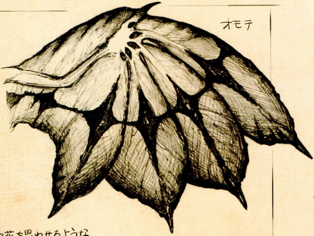


陸珊瑚の台地の主、
風漂竜レイギエナ

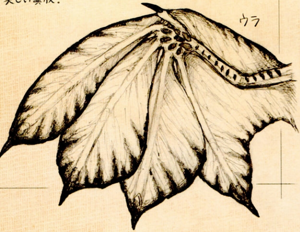
レイギエナ

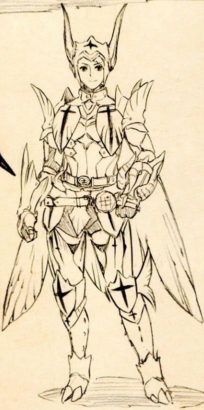
翼膜が特徴的な飛竜。
飛翔時には、翼のほか、頭部や尻尾にある
開閉式の翼膜も使って風を捉えるようだ。
ラフィノスを捕食対象とし、体から冷気を放って
獲物を弱らせながら狩りをする。





蝶や花を思わせるような
美しい翼膜。



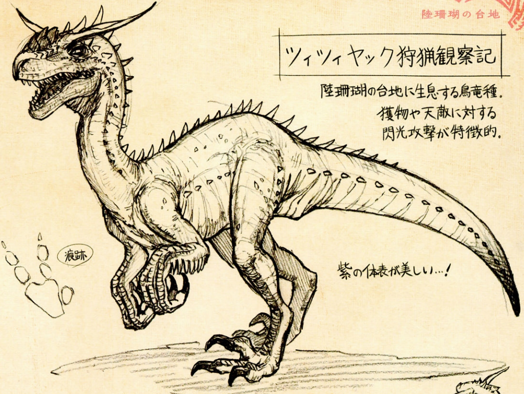


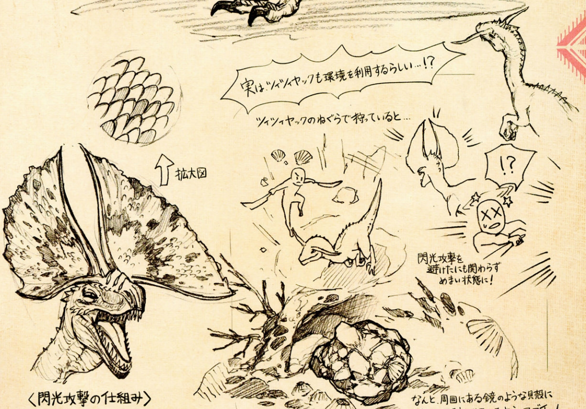
レイギエナ女性装備

各所に特徴的な模様があしらわれた防具。
職人さんのセンスが光ってます!
マントがカッコイイ…!

ツィツィヤック狩猟観察記

陸珊瑚の台地に生息する鳥竜種。
獲物や天敵に対する
閃光攻撃が特徴的。





〈閃光攻撃の仕組み〉

鼻の甲殻の隙間にある発光器官を光らせ、
反射板の役目を持つヒレで受け止めてフラッシュさせる。


気球に改造した研究基地と
第３期団は
ふたたび空へ――

第3期団について

学者を中心に構成された集団で、
メンバーの9割を学者が占めている。



メガネ姿が最高すぎです…!



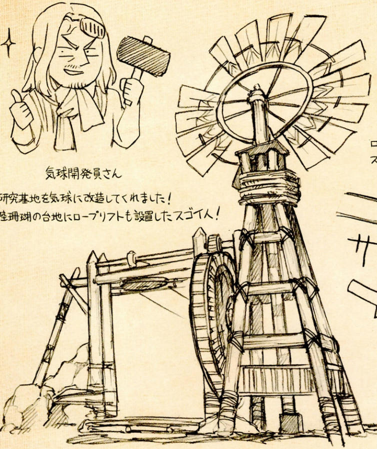


第3期団の団長さん

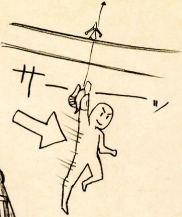
生物学の中でも、
脳科学を専門としているお方。
好奇心と知識欲が強く、
優れた感性の持ち主。

気球開発員さん

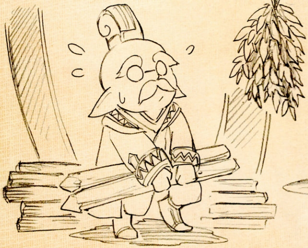
研究基地を気球に改造してくれました！
陸珊瑚の台地にロープリフトも設置したスゴイ人！



ロープにスリンガーを引っ掛けて
スムーズにフィールドを移動できる。

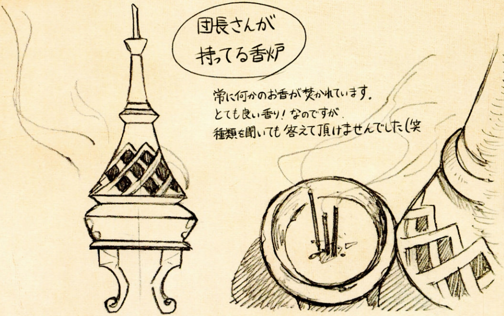


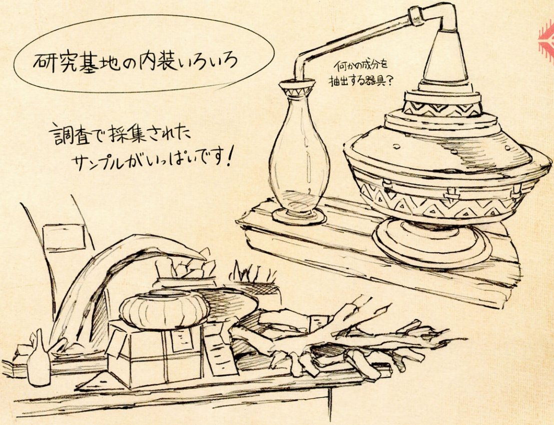
学者さんも気球改造のお手伝い。
何十年も本より重いものを持った事がないらしく、
苦戦中…！



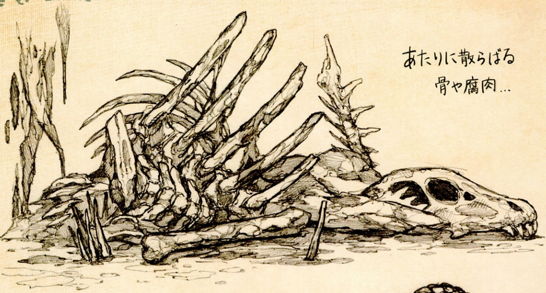


再び船を飛ばすと聞いて
壺に隠れるマカ錬金研究員さん（笑


団長さんが
持ってる香炉
常に何かのお香が焚かれています。
とても良い香り！なのですが、
種類を聞いても答えて頂けませんでした(笑


研究基地の内装いろいろ
何かの成分を
抽出する器具？
調査で採集された
サンプルがいっぱいです！


6
瘴気の谷
MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH
ゾラ・マグダラオスの痕跡を追って、瘴気の谷へ
あまりにも過酷な環境に息が詰まる——

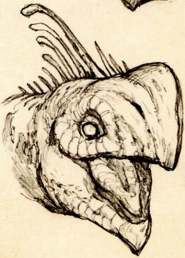

あたりに散らばる
骨や腐肉…


環境に適応した結果なのか、
固い殻や棘を持つ植物たち
赤い皮の果実

ラフィノス(瘴気)

瘴気の影響で体色が変わり、
性格もより狂暴に
なっている。

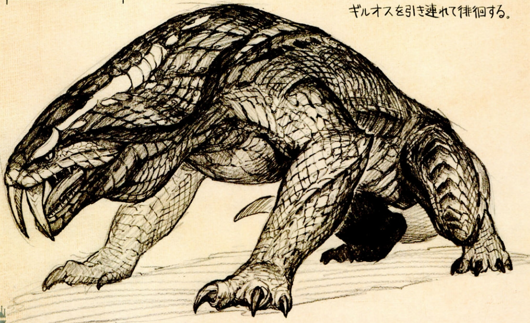


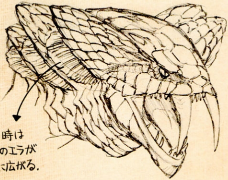


頭部のアップ。
陸珊瑚の台地で見たラフィノスとは
全く違う種の飛竜に思えます。

ドスギルオス

別名「痺賊竜」と呼ばれている牙竜種で、
麻痺性の毒液を吐いて獲物を仕留める。
ギルオスを引き連れて徘徊する。





怒り時は
頭部のエラが
左右に広がる。

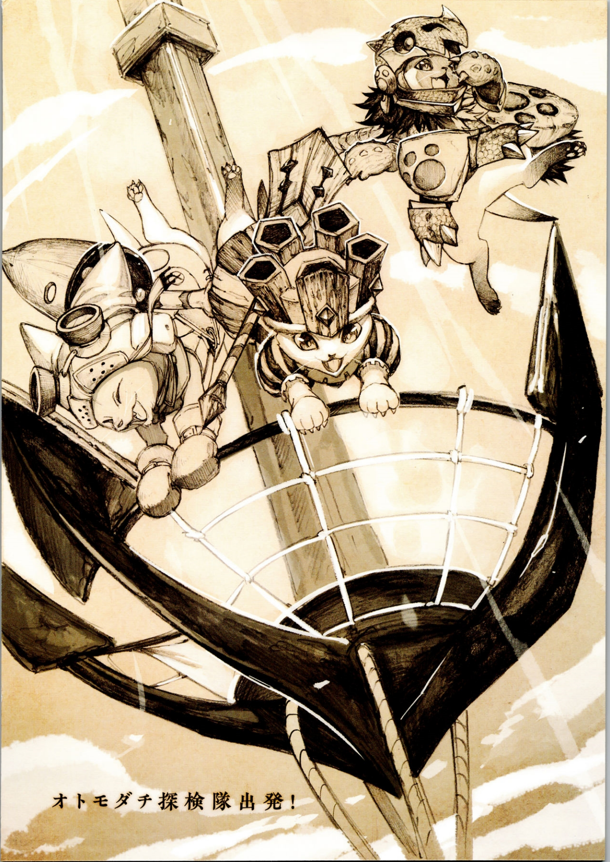
ギルオスたちの縄張りは特に瘴気が強いが、
スリンガー松明弾を撃って瘴気を薄くすることも！



ギルオス

ドスギルオスと同じく、
牙に麻痺毒を持つ
小型の牙竜種。




オトモダチ探検隊出発！

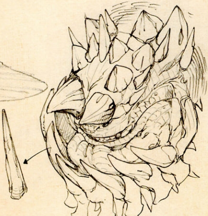
ラドバルキン

瘴気の谷に棲息する獣竜種のモンスター。
別名、骨鎚竜の名の通り、
骨に覆われた姿が特徴的。
骨を食料にもしているようだ。



顔の片側にだけ
骨を纏っているのが
カッコ良か…！





まるで骨が生えているかのように見えるが、
身に纏うタールのようなもので
全身に骨を接着させている。

ラドバルキン狩猟の教訓



教訓①
ラドバルキン狩猟は危険がいっぱい!
右よし、左よしの安全確認を忘れずに!



教訓②
まれに睡眠ガスを噴出する攻撃も、要注意!



落ちてきたレイギエナの死体を運ぶオドガロン

オドガロン



瘴気の谷を単身徘徊し、
モンスターの死体を求め嗅ぎまわる姿を目撃。
屍肉を主食としているようだ。

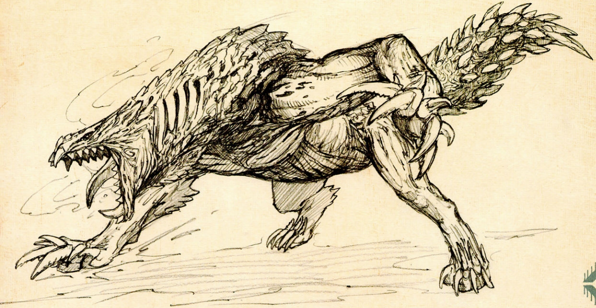
硬い皮膚に
覆われている。

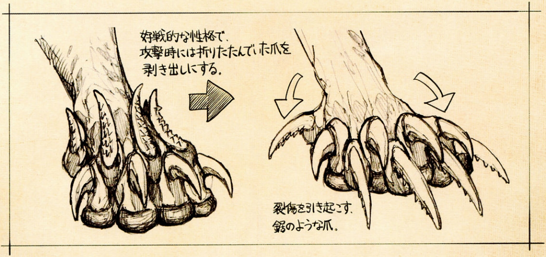


一見、筋肉が剥き出しになっていると
見間違うような独特な体表。

強暴化したオドガロン

肉を食らうと強暴化し、さらに危険度が増す。









瘴気の谷を調査した
第5期団の導き出した答え、
それはこの地が“モンスターの墓場”であるということ。

この場所で“死”を迎えたモンスターたちは、
大地の栄養となって次の世代の“生”を育む——

それにしても、
陸珊瑚の台地ほどの豊かな“生”を支えているのは、
いったいどんな“死”なのでしょうか……?




終
決戦
MONSTER HUNTER: WORLD
EDITOR'S SKETCH
大蟻塚の荒地を一望できる高台から

ディアブロス

大蟻塚周辺を生息域とする飛竜。
2本の巨大な角と強靭な脚力を誇り、
別の地方では「砂漠の暴君」とも呼ばれる。









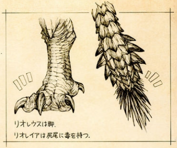




古代樹の森にて

飛竜の巣から卵を盗み出すと
すかさず雌火竜リオレイアが現れた
リオレイアの猛攻をしのぎ、反撃に成功するも
つがいの窮地に火竜リオレウスが駆けつける

火竜の雄、"空の王者"リオレウスと、
火竜の雌、"陸の女王"リオレイア。



リオレウス

古代樹の森で
生態系の頂点に立つ飛竜種の雄。
リオレイアとつがいで狩りを行う。



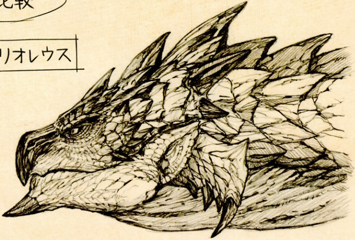
リオレイア

古代樹の森などに生息する
飛竜種の雌。
卵を奪われるとどこまでも
追いかけて来る。



頭部の比較

リオレウス

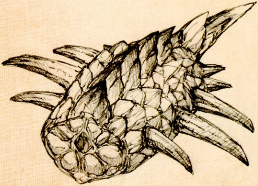


リオレイア

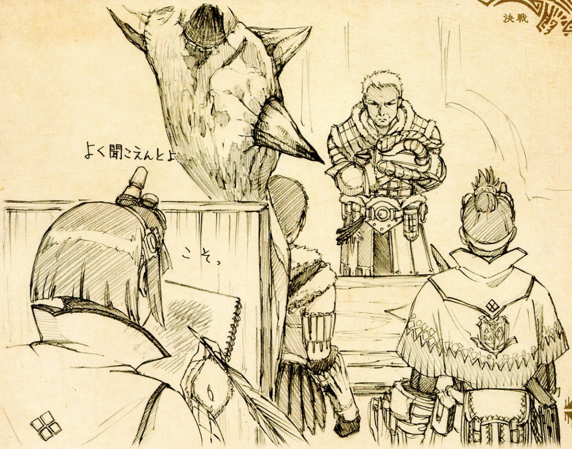
雌の頭の突起は
授乳器の役割を果たす。



リオレウスの切断された尻尾と断面図







行方不明となっていたゾラ・マグダラオスが
瀕死の状態で地脈回廊に迷い込んでいるとの一報が…！
このままマグダラオスが死を迎えると、
溜めこんだ生命エネルギーが地脈を通って放出され
新大陸は火の海に包まれる、という……

新大陸古龍調査団は総力を挙げて、
ゾラ・マグダラオスを地脈回廊から外海へと誘導する！
…わたしも、見届けに行ってきます！



現在までに見つかっている編纂者モンの手記は、ここで途絶えている。

かの英雄譚によれば、新大陸古龍調査団はギルドの協力のもと、撃龍槍を使ってゾラ・マグダラオスを誘導。外海にてマグダラオスが生を終えたことで、その骸は新たな生命の苗床になったと伝えている。編纂者モンはこの景色を見て何を思い、どこへ向かったのか。その足取りは杳として知れない。

だが、わたしは確信している。編纂者モンはいまもこの世界のどこかにいて、紙とペンを片手に旅の途中であると。ミチビキウサギに導かれ、ハコビアリに運ばれて、流れついた先にきっと、彼女の“痕跡”はある。

いつの日にかまた、編纂者モンのスケッチを読者諸兄にお届けできることを祈って。

新大陸スケッチ紀行
～モンスターハンター：ワールド 編纂者日誌～
絵・藤山もんた

2018年 9月25日 初版発行

発行人	青柳昌行
編集人	林克彦
発行	株式会社Gzブレイン 〒104-8457 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア 電話 0570-000-664（ナビダイヤル） http://gzbrain.jp/
発売元	株式会社KADOKAWA 〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 https://www.kadokawa.co.jp/
編集長	谷塚真一
編集担当	江野本陽子
装丁・デザイン	一関麻衣子
監修・協力	株式会社カプコン
印刷	図書印刷株式会社

本書の内容・不良交換についてのお問い合わせ

Gzブレイン カスタマーサポート
電 話：0570-000-664（土日祝日を除く正午～ 17時）
フォーム：http://gzbrain.jp/（最下段「お問い合わせ」へお進みください）
※製造不良品につきましては上記窓口にて承ります。
※記述・収録内容を超えるご質問にはお答えできない場合があります。
※サポートは日本国内に限らせていただきます。

本体価格はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-04-733345-1
C0076
Printed in JAPAN



ISBN978-4-04-733345-1
C0076 ¥1850E

定価：本体 1,850円（税別）

9784047333451

発行：株式会社Gzブレイン

Gzブレイン

1920076018503

